

## 近赤外分析光源

M018-01

## 近赤外線(NIR)を測定対象に照射させて 拡散反射光から近赤外吸収を求めるための成分分析用光源です

### 概要

測定対象に近赤外線を照射し、拡散反射光を光ファイバで受光させて背面にあるSMA光コネクタから出力することでインタラクタンスモード※の測定が可能です。

光出力を分光装置等に入力することで非破壊での近赤外吸収による成分分析を行うことができます。

### 特徴

- ・2灯の光源とファイバが最適配置され容易な測定
- ・高出力ランプにより低反射率の対象物にも有効
- ・測定対象に合わせて光出力を可変可能
- ・光源の空冷処理により高寿命化と高安定性を実現
- ・小型でタップ穴もあり光学系への固定も容易



サイズ：  
51mm(W)×53mm(H)×92mm(D)

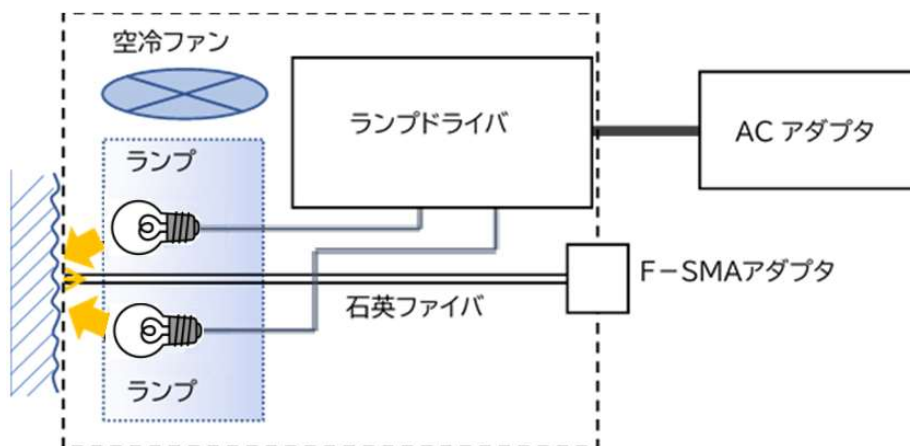
### 用途

- ・プラスチックや樹脂材料等の成分分析
- ・魚や肉の油脂成分分析
- ・水分測定



分光器にファイバ接続して使用

### 装置構成

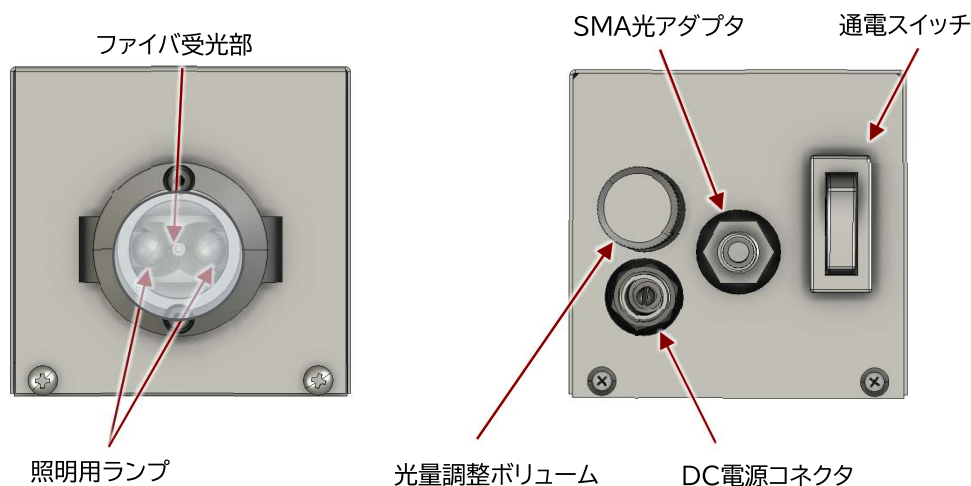


※インタラクタンス法は光源側と検出器側が試料に接触しており、試料の内部で拡散反射された光のみを検出する方法。

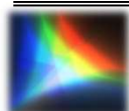
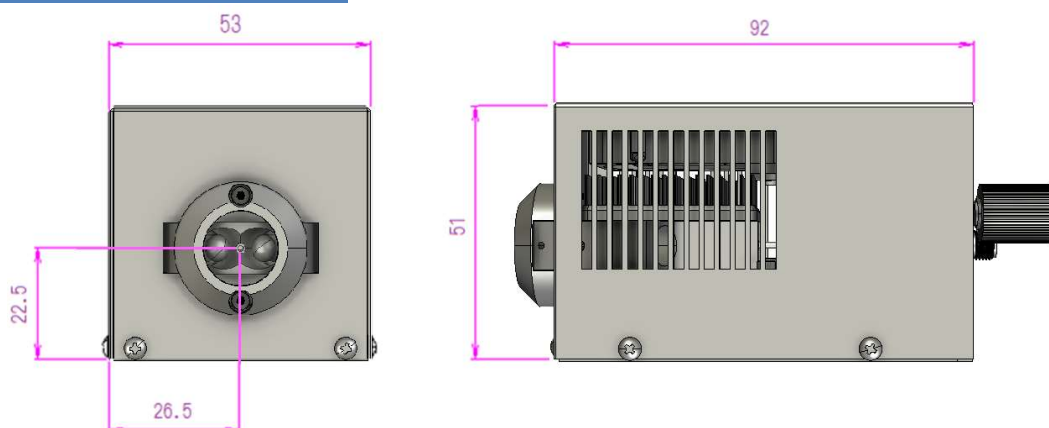
## 仕様

項目	仕様値
装置性能	
光ファイバ	石英ガラスマルチモードファイバ (コア径0.91 mm/ クラッド径 1 mm)
光コネクタ	SMA905光コネクタ
最大出力放射束	1 W (カロリメータ実測値)
可変電流レンジ	0.45 A ~ 1.0 A最大
ピーク波長	1.1 $\mu$ m (参考値)
光源	近赤外電球2灯 (消費電力 10 W)
光源推定寿命	10000時間/ 0.9 A 1 A最大時は1000時間
ウォームアップ時間	3分
電源	AC 100 V, 50/60 Hz
消費電力	最大11 W
寸法・重量	51(W) $\times$ 53(H) $\times$ 92(D)mm・約500 g
使用環境	
動作温度・湿度	10 ~ 40 $^{\circ}$ C, 85 %以下(結露無きこと)
保存温度	0 ~ 60 $^{\circ}$ C

## パネル配置



## 外形寸法



OMT(株)オプトメカトロ

〒430-7707 浜松市中区板屋町111-2  
浜松アクタワー7階

電話・FAX 053-401-2070  
URL : <http://www.opt-mt.com>

Mail : [info@opt-mt.com](mailto:info@opt-mt.com)  
Update: Mar. 2021